# 満水区 市民対話集会

令和4年4月29日(金・祝)午後1時30分から たまりーな 大研修室

掛川市協働環境部環境政策課



©茶のみやきんじろう

# 1 検討委員会の状況報告

- (1) 検討委員会の設置趣旨等
- (2) 検討委員会委員名簿・経過
- (3) 委員から出された主な意見
- (4) 今後の方向性及び検討が必要な事項

# (1) 検討委員会の設置趣旨等

- ▶ 新たな廃棄物処理施設整備については、令和3年1月 に掛川市・菊川市衛生施設組合が基本構想を策定し、公 民連携方式の採用を第一優先として検討してきました。
- ▶ しかし、産業廃棄物に対する市民の不安の高まり、リサイクルプラザの火災、世界的なカーボンニュートラルへの取り組みの加速など、基本構想策定以降に社会情勢が急速に変化してきました。
- ▶ これらのことを踏まえ、今一度、公民連携方式のみならず、その他の方式を含めて再検討するとともに、今後の国の環境政策の動向やその他トレンドを踏まえたごみ量・ごみ質の試算を行い、安全安心で安定的な廃棄物処理施設の稼働に資する適切な意思決定が可能となるよう、掛川市・菊川市合同で検討委員会を設置しました。

# (2) 検討委員会委員名簿・経過

#### 検討委員会委員名簿

| 役職    | 氏名    | 所属                                | 分野               | * |
|-------|-------|-----------------------------------|------------------|---|
| 【委 員】 |       |                                   |                  |   |
| 委員長   | 平井 一之 | 一般社団法人静岡県環境資源協会専務理事<br>菊川市環境審議会会長 | 環境経営<br>環境政策     |   |
| 副委員長  | 鈴木 克壽 | 元静岡大学特任教授<br>掛川市環境審議会副会長          | 自然環境<br>環境政策     |   |
| 委員    | 石川 雅紀 | 叡啓大学特任教授                          | 循環経済学<br>環境経済学   |   |
| 委員    | 大橋 慶士 | 元静岡大学人文学部教授                       | 環境マネジメント<br>環境会計 |   |
| 委員    | 木村 浩之 | 静岡大学理学部地球科学科教授                    | 環境影響評価<br>持続可能性  |   |
| 委員    | 村上 篤司 | 環境科学研究所所長                         | 環境防災学<br>環境影響評価  |   |
| 【事務局】 |       |                                   |                  |   |
|       | 髙柳 泉  | 掛川市副市長                            |                  |   |
|       | 赤堀 愼吾 | 菊川市副市長                            |                  |   |
|       | 都築 良樹 | 掛川市協働環境部長                         |                  |   |
|       | 鈴木 和則 | 菊川市生活環境部長                         |                  |   |
|       | 松永 真也 | 掛川市環境政策課長                         |                  |   |
|       | 戸塚 直見 | 菊川市環境推進課長                         |                  |   |
|       |       |                                   |                  |   |
|       |       |                                   |                  |   |

#### ▶ 経過

|     | 開催日時・場所  | 協議検討事項  |
|-----|--|---|
| 第1回 | 【開催日時】<br>令和4年3月21日(月·祝)<br>13:30<br>【開催場所】<br>掛川市役所4階会議室1 | 【報告・協議事項】  1)新しい廃棄物処理施設 の整備について  2)基本構想の主な内容の まとめと今後の調査項目  3)当局説明に対する意見   |
| 第2回 | 【開催日時】<br>令和4年4月24日(日)<br>13:30<br>【開催場所】<br>掛川市役所4階会議室1   | 【報告・協議事項】  1) 地域循環共生圏の考え方に基づく公民連携の設計思想  2) 全国における民設民営方式の実施状況  3) 産業廃棄物混焼の場合の環境負荷への影響(村上委員)  4) 想定されるカーボンニュートラル時代(石川委員)  5) 年度別施設運営費の見込み |

### (3) 委員から出された主な意見

#### 第1回検討委員会

- 将来的にごみの減少が予想され、質の良い産業廃棄物が安定的に受け入れられる保証はあるのか。
- カーボンニュートラルの時代でCO2排出にお金を払う社会が見込まれる。財政 リスクの検討が必要。
- 産業廃棄物を混焼した場合の環境負荷の検証が必要。
- 一般廃棄物は市、産業廃棄物は事業者に処理責任があるが、制度を設けて産廃 に市が関わった場合は、市に責任が及ぶのではないか。
- 民設民営の全国事例について知りたい。

#### 第2回検討委員会

- ダイオキシン類の総排出量は国の基準を下回っている。しかし、塩素系が入るときは 注意が必要で、何をどのくらい燃やすのかが重要である。
- 基本構想策定時の計画にCO2排出にお金がかかる「ネットゼロ社会」の想定を入れて 検討を行う必要がある。
- 年度別施設運営費の見込みについて、公民連携については、市側から見た試算に加え、 事業者側から見た経済性の試算も検討において必要である。
- 掛川市はごみ減量日本一であり、この市民感情は大切である。市民が誇りに思える施設でありたい。

### (4) 今後の方向性及び検討が必要な事項

▶ 検討委員会は月1回程度開催し、8月を目途に最終的な方向性をまとめていく予定。

#### [今後の検討が必要な事項]

- ▶ 現施設の延命の可否
- ▶ 現施設南側への新施設建設の可否
- ▶ ごみ量・ごみ質の将来推計 など

### 検討委員会の公開について

- ▶ 検討委員会は公開で開催しています。 (新型コロナウイルス感染防止対策として、会場 での傍聴は人数を制限しています)
- 掛川市・菊川市のホームページから ライブ配信・録画配信を行っていますので、 ぜひご覧ください。

【掛川市公式ホームページ】

<u>URL:https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/kurashi/gomi/haikibutusyori/iinnkai/</u>



## 2 全国における民設民営方式の事例

2022/4/24

| No.           | 1  | 2  | 3   | 4   | 参考   |
|---------------|--|--|---|---|--|
| 事業名           | 倉敷市資源循環型廃棄物<br>処理施設整備運営事業  | 君津地域広域廃棄物処理<br>事業(第1期)   | 埼玉県彩の国資源循環工<br>場整備事業                                | 豊橋市バイオマス資源利<br>活用施設整備・運営事業                      | ごみ処理施設整備・運営<br>事業  |
| 名称            | 水島エコワークス<br>※水島コンビナート内に<br>立地  | かずさクリーンシステム  | 彩の国資源循環工場<br>サーマルリサイクル施設                            | 豊橋市バイオマス利活用<br>センター                             | 環境美化センター<br>北部クリーンセンター   |
| 自治体名          | 岡山県倉敷市   | 千葉県君津市・木更津<br>市・<br>富津市・袖ヶ浦市   | 埼玉県(寄居町)  | 愛知県豊橋市  | 滋賀県大津市   |
| 事業方式          | PFI (BOO)  | 第3セクター   | PFI (BOO)   | PFI (BTO)                                       | DBO  |
| 自治体の関わり       | SPC(特定目的会社)に<br>出資   | SPC(特定目的会社)に<br>出資   | 埼玉県が土地提供  | 事業計画及び施設所有                                      | 市有地の賃借   |
| 対象処理物         | ・一般廃棄物<br>・産業廃棄物(廃プラ、<br>木くず、紙くず、繊維く<br>ず、動植物性残渣、汚泥、<br>廃油、燃え殻、金属くず<br>等) ※水島コンビナー<br>トから出る廃棄物 | ・条例で気り入れている<br>産業廃棄物<br>   |   | ・下水汚泥、し尿・浄化<br>槽汚泥及び生ごみのバイ<br>オガス化              | ・一般廃棄物<br>・災害廃棄物   |
|               | SPC:水島エコワークス<br>㈱ (JFEエンジニアリング㈱、倉<br>敷市、岡山県等)  | <ul><li>・日鉄エンジ・ニアリング・(株)</li><li>・鹿島環境エンジ・ニアリング・(株)</li><li>・(株)市川環境エンジ・ニアリング・</li></ul> | オリックス資源循環(株)  | SPC:(㈱豊橋バイオウィ<br>ル(JFEエンジニアリング(株)、鹿<br>島建設(株)等) | SPC:大津環境テクノロ<br>ジー(株)<br>※市の出資なし   |
| 施設規模・<br>技術方式 | ・555 t /日(185 t /日×<br>3 炉)※一廃棄物:303 t<br>/日産業廃棄物:252 t /日<br>・サーモセレクト方式ガ<br>ス化溶融炉             | 100 t /日×2炉、第二工  | ・450 t /日(225 t /日×<br>2 炉)<br>・サーモセレクト方式ガ<br>ス化溶融炉 | ・メタン発酵槽(5,000㎡<br>× 2基)                         | ・両施設ともに175 t /日<br>(87.5 t /日×2炉)<br>・ストーカ式                                      |
| 事業スケジュール等     | ・工期:H15.4~H17.3<br>・供用開始/運営期間:<br>H17.4/20年間   | ·供用開始/運営期間:<br>H17.4/20年間  | ・供用開始/運営期間:<br>H18.9/20年間                           | ・供用開始/運営期間:<br>H29.10/20年間                      | 環境美化センター<br>・供用開始/運営期間:<br>R3.4/19年間北部クリーン<br>センター<br>・供用開始/運営期間:<br>R4.7/18.9年間 |

## 3 産業廃棄物の種類

- 産業廃棄物 (産廃)
  - ・法令で決められた20種類 (工場からの排出ごみを指すわけではない)
  - 業種に関係なく産業廃棄物になるもの
  - ① 燃え殻 ② 汚泥 ③ 廃油 ④ 廃酸 ⑤ 廃アルカリ
  - ⑥ 廃プラスチック類 ⑦ ゴムくず ⑧ 金属くず
  - ⑨ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず ⑩ 鉱さい
  - ⑪ がれき類 ⑫ ばいじん
    - 業種を限定して産業廃棄物になるもの
  - ① 紙くず ④ 木くず ⑤ 繊維くず ⑥ 動植物性残さ
  - ① 動物系固形不要物 ⑱動物のふん尿 ⑲ 動物の死体
  - ②1から19の産業廃棄物を処分するために処理したもので、それらの産業廃棄物に該当しないもの(有害汚泥のコンクリート固形化物など)

# MEMO

